

進路だより

三和中学校 進路指導係
第 5 号
2022年 12月12日

令和7年度県立高校入試（現中学1年生が受検）が変わります

現行の入試制度は、推薦入試、一般入試、第2次募集の3つで構成されていますが、現在中学1年生のみなさんが受検する高校入試は、現行のものとは少し変わります。どのように変わるのか見てみましょう。

推薦入試から特色選抜へ

◆現行の「推薦入試」の課題

- ①（現行推薦入試制度は）早期合格の手段としての傾向が強く、本来の趣旨（志望学科に対する目的意識が明確であり、当該学科への興味、関心及び適正を有する生徒を推薦する）が活かされていないとの懸念があります。
- ②推薦合格内定者の一部に、その後の学習意欲の低下が見られ、義務教育段階の学習内容の確実な定着に課題があります。
- ③各中学校によって、推薦基準が異なることによる不公平感が指摘されています。

◆令和7年度から実施される「特色選抜」の基本方針

- ①生徒が自ら出願できます。学校推薦ではなく、生徒本人による出願とすることで、意欲的な学習や主体的な進路決定を促します。
- ②生徒の個性や特性を伸ばします。受検生が志望校を決定するための資料として各高校・学科の特色をより明確に示すための「育成したい資質・能力」、「目指す生徒像」を作成します。
- ③学力検査を全員受検します。義務教育段階の学習内容の確かな定着を図ることが目的です。また、学力検査は一般入試と同じ日程で行います。
- ④受検機会をこれまで通り確保します。特色選抜と一般入試において、別の高校へ志願することが可能です。

※1年生のみなさんには、三者面談においてより詳しい内容が記載された資料を配布します。ぜひご確認ください。